

平成25年3月期 第3四半期決算説明資料

平成25年2月4日

【本資料に関する注意事項】

本資料は、本年1月31日に発表しました「平成25年3月期 第3四半期決算短信」の決算補足説明資料として、同第3四半期累計期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績見込み、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。



日本調剤株式会社

(証券コード 3341)

当第3四半期(4月～12月累計)の連結業績

売上高	1,035億円 (前年同期比7.9%増)
営業利益	20億円 (同51.6%減)
経常利益	16億円 (同57.1%減)
四半期純損失	4億円 (前年同期は17億円の四半期純利益)

●平成25年3月期連結業績予想を修正(1月31日公表)

- ・第3四半期において過年度法人税等を計上、通期予想を修正(次項参照)。

●調剤薬局事業は収益力回復へ

- ・出店の見直し、各種経費節減により第3四半期より収益力回復。
- ・53店舗を新規出店。閉局は6店舗。

●医薬品製造販売事業は12月発売の新製品を含め増収

- ・6月、12月に新規収載品発売。第3四半期累計期間で黒字化。

●医療従事者派遣・紹介事業は増収

- ・調剤薬局・ドラッグストアの出店攻勢と薬剤師の業務内容増加により、薬剤師不足はより深刻化。主力の薬剤師派遣を中心に増収。

1月31日付にて、過年度法人税等の発生と 主にこれに伴う業績予想の修正を発表いたしました。

・過年度法人税等の内容

当社は、東京国税局より平成21年3月期から平成24年3月期までの課税年度の法人税等について税務調査を受け、主に関係会社との間の研究開発費用負担及び貸付金利息免除等について指摘を受けた結果、過年度法人税等1,034百万円を計上することといたしました。

税務当局からの指摘につきましては、見解の相違に起因するものでありますが、当局からの指摘を受け入れ修正申告を行う予定であります。なお、金額につきましては、当社が現段階で試算した概算計上額であります。

平成25年3月期連結業績予想 (1月31日公表・修正見込み)

百万円

	平成24年10月26日 前回発表予想	平成25年1月31日 今回発表予想	増減額	増減率	(参考)平成24年3月期 実績
売上高	143,209	139,605	△3,604	△2.5%	130,041
営業利益	3,134	3,132	△2	△0.1%	5,464
経常利益	2,563	2,735	172	6.7%	4,941
当期純利益	1,197	206	△992	△82.8%	2,085

「業績回復に向けた取り組み」の実施により、収益力を回復。
 第3四半期3か月間では、営業利益は1,255百万円、経常利益は1,088百万円となった
 (前年同期は営業利益1,213百万円、経常利益1,107百万円)。
 過年度法人税等の計上により、第3四半期累計期間で四半期純損失となる。

(単位:百万円)

	H23/4-12	H24/4-12	増減額	増減率	H25年3月期 通期予想※
売上高	95,990	103,596	7,605	7.9%	139,605
売上原価	79,556	87,752	8,195	10.3%	118,088
売上総利益	16,433	15,843	△590	△3.6%	21,517
販管費	12,215	13,803	1,587	13.0%	18,385
営業利益	4,217	2,039	△2,178	△51.6%	3,132
経常利益	3,809	1,632	△2,176	△57.1%	2,735
四半期純利益	1,710	△421	△2,132	—	206

※平成25年1月31日付 公表数値

調剤薬局事業の売上高は前期・当期の新店舗寄与で7.0%の増収。
 医薬品製造販売事業は前年比31.4%増と大幅売上増加。
 医療従事者派遣・紹介事業は引き続き順調。

(単位:百万円)

	H23/4-12	構成比	H24/4-12	構成比	増減額	増減率
売上高	95,990	100.0%	103,596	100.0%	7,605	7.9%
調剤薬局事業	91,177	95.0%	97,521	94.1%	6,344	7.0%
うち一般薬等売上	1,277	1.3%	1,390	1.3%	112	8.8%
医薬品製造販売事業	2,900	3.0%	3,811	3.7%	910	31.4%
医療従事者派遣・紹介事業	1,912	2.0%	2,263	2.2%	350	18.3%
売上原価	79,556	82.9%	87,752	84.7%	8,195	10.3%
売上総利益	16,433	17.1%	15,843	15.3%	△590	△3.6%

※セグメント間取引は相殺消去しております。

本社増床、横浜支店移転、京都・神戸支店開設、本社管理部門増員など、グループ全体での全国展開強化推進により、販管費大幅増加。一方「業績改善へ向けた取り組み」の一環としての経費節減実施中。

(単位:百万円)

	H23/4-12	構成比	H24/4-12	構成比	増減額	増減率
売上総利益	16,433	17.1%	15,843	15.3%	△590	△3.6%
販管費	12,215	12.7%	13,803	13.3%	1,587	13.0%
（給与手当）	1,889	2.0%	2,183	2.1%	294	15.6%
（賃借料）	1,250	1.3%	1,473	1.4%	223	17.9%
（消費税等）	3,571	3.7%	4,055	3.9%	483	13.5%
（研究開発費）	876	0.9%	832	0.8%	△43	△5.0%
営業利益	4,217	4.4%	2,039	2.0%	△2,178	△51.6%

主な増減要因

【販管費】
 ・賃借料
 （本社増床、支店数増加）
 ・消費税等
 （改定直後の仕入増加）

※構成比は売上に対する比率

(単位:百万円)

	H24/3月末	H24/12月末	増減額
流動資産	36,543	41,568	5,024
固定資産	50,071	52,158	2,087
有形固定資産	30,796	32,583	1,787
無形固定資産	9,845	9,584	△261
投資その他	9,429	9,990	560
資産合計	86,615	93,727	7,111
流動負債	36,757	46,364	9,606
固定負債	35,141	33,413	△1,728
負債合計	71,899	79,777	7,878
純資産合計	14,716	13,949	△766

主な増減要因

【流動資産】	
・現金及び預金	△616
・売掛金	+1,393
・商品及び製品	+4,407
【固定資産】	
・土地	+1,071
【流動負債】	
・買掛金	+3,619
・1年以内返済予定の 長期借入金	+7,448
【固定負債】	
・長期借入金	△1,960
【純資産】	
・利益剰余金	△925

第3四半期まで53店舗を出店。出店対象の選別を強化中。

調剤薬局出店活動		H24/4-12 実績
出店数		53
閉店数		6
グループ総店舗数(12月末)		464



第3四半期の
主な開局店舗



春光一条薬局(北海道旭川市)



草加薬局(埼玉県草加市)



蒲原薬局(静岡県富士市)



武庫之荘薬局(兵庫県尼崎市)

第3四半期まで 調剤薬局事業出店実績

	直営 店舗数	うち 出店数	うち 閉店数	調剤 子会社	地域別 店舗数	H24/3末 地域別店舗数
北海道	42	1	0	0	42	41
東北	37	0	0	0	37	37
関東	231	43	4	3	234	195
うち東京都	99	16	4	2	101	86
うち神奈川県	74	14	0	0	74	60
甲信越	19	1	0	0	19	18
東海	35	4	0	0	35	31
関西・北陸	45	4	1	0	45	42
中国・四国	29	0	1	0	29	30
九州	23	0	0	0	23	23
計	461	53	6	3	464	417

(H24年12月末現在)

既存店で前年同期比売上高微増。

【日本調剤グループ 出店期別店舗調剤売上推移】

(単位:百万円)

	店舗数	H23/4-12	H24/4-12	増減額	増減率
既存店 (~H23/3)	338	89,319	90,882	1,562	1.7%
前期出店 (H23/4~H24/3)	74	1,213	5,309	4,096	337.6%
今期出店 (H24/4~12)	52	—	1,174	1,174	—
その他	—	357	63	△293	△100.0%
計	464	90,980	97,430	6,539	7.47%

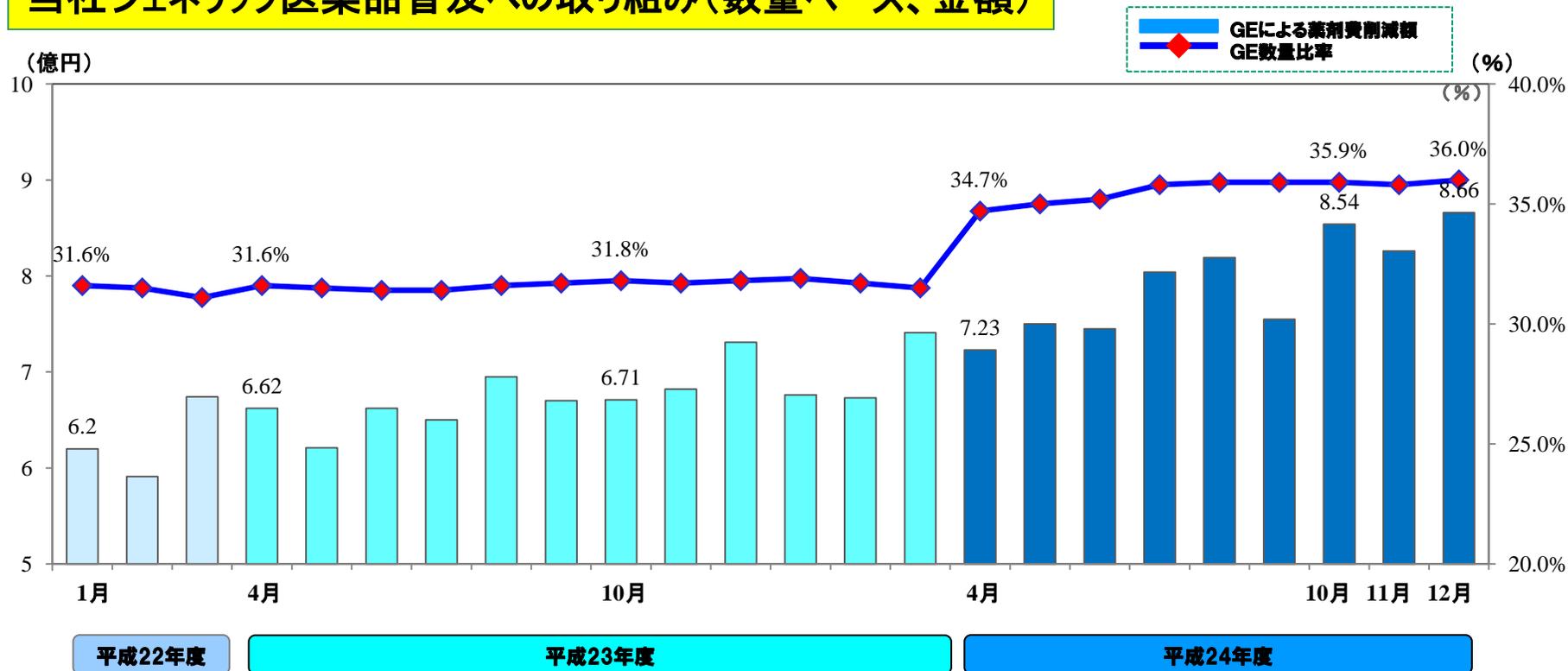
(注)今年度より集計を日本調剤単体からグループ単位に変更しております。

- ・ 調剤売上のみ(OTC等含まず)、4月~12月の発生ベース(返戻再請求を反映せず)
- ・ 今期出店のうち1店舗については、閉局いたしております。

地域	前期連結累計期間	当期連結累計期間	前年同期比(%)
	処方せん枚数(千枚) (構成割合)	処方せん枚数(千枚) (構成割合)	
北海道	750 (10.3%)	729 (9.3%)	97.2%
東北	722 (9.9%)	754 (9.6%)	104.5%
関東	3,512 (48.2%)	3,901 (49.8%)	111.1%
うち東京都	1,199 (16.5%)	1,365 (17.4%)	113.8%
うち神奈川県	1,318 (18.1%)	1,435 (18.3%)	108.8%
甲信越	184 (2.5%)	198 (2.5%)	107.2%
東海	419 (5.7%)	480 (6.1%)	114.6%
関西・北陸	905 (12.4%)	942 (12.0%)	104.1%
中国・四国	491 (6.7%)	508 (6.5%)	103.5%
九州	304 (4.2%)	325 (4.1%)	106.8%
合計	7,291 (100.0%)	7,840 (100.0%)	107.5%

診療所・クリニックでの「一般名処方」処方せん発行が引き続き増加している。
 (当社での一般名処方せん受取: 2012年3月0.3%→4月9.0%→12月13.4%)

当社ジェネリック医薬品普及への取り組み(数量ベース、金額)



24年度より新基準(漢方・生薬を除く)にて算定
 (この影響で2%程度の上昇あり)

医薬品製造販売事業（日本ジェネリック株式会社）

「自社開発・自社工場製造」6月に2製品4品目、12月には3製品5品目を発売。販売品目数は373品目（うち自社開発・自社工場製造品は21品目）となる。第3四半期累計期間で営業利益212百万円、黒字化基調継続。

（単位：百万円）

	H23年4月～12月	H24年4月～12月	増減額	増減率
売上高（連結消去前）	5,978	8,232	2,254	37.7%
営業利益	△410	212	622	—

医療従事者派遣・紹介事業（株式会社メディカルリソース）

一般名処方への対応、在宅薬剤関連業務など「薬剤師に求められる業務」が増大しており、ドラッグストアなど出店も増加。薬剤師の余剰感は感じられない。こうした中で主力の薬剤師派遣を中心に好調、大幅増収達成。

（単位：百万円）

	H23年4月～12月	H24年4月～12月	増減額	増減率
売上高（連結消去前）	2,377	2,965	588	24.8%
営業利益	382	382	△0	△0.1%

● IRお問い合わせ先

日本調剤株式会社 経営企画部 IR担当まで

〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37F

電話: 03-6810-0800(代表)

E-Mail: ir-info@nicho.co.jp

IR専用ページ : <http://www.nicho.co.jp/ir>